

| | | | |
|--------------|--|---------|--------|
| 授 業 科 目 名 | 統計学 | 授 業 形 態 | 講 義 |
| | | 配 当 学 期 | 1年（後期） |
| 担 当 教 員 名 | 沖田 任弘 | 単 位 数 | 2単位 |
| | | 時 間 数 | 30時間 |
| 授業概要 学習目標 | <p>〔授業概要〕</p> <p>医療や福祉の現場では治療やリハビリの成果を客観的に評価しなければ信頼ある活動につながらない。その場合、現代では統計学の手法が科学的に最前線的手段とみなされている。この授業では、統計学の考え方や臨床データへの適用の方法などを学ぶ。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>統計学の基礎を理解する。適切な統計手法を選択できるようになる。コンピューターを使用して統計分析ができるようになる。</p> | | |
| 授業回数 | 授業内容 | | |
| 第 1 回 | 統計学の基礎 | | |
| 第 2 回 | データの尺度・特性値・グラフ | | |
| 第 3 回 | データの尺度・特性値・グラフ（演習） | | |
| 第 4 回 | 推定と検定の基礎 | | |
| 第 5 回 | 2標本の差の検定（パラメトリック検定） | | |
| 第 6 回 | 1標本の差の検定（パラメトリック検定） | | |
| 第 7 回 | 差の検定（ノンパラメトリック検定） | | |
| 第 8 回 | 差の検定（演習） | | |
| 第 9 回 | 相関 | | |
| 第 10 回 | 相関（演習） | | |
| 第 11 回 | 回帰分析 | | |
| 第 12 回 | 重回帰分析 | | |
| 第 13 回 | 分割表とX ² 検定 | | |
| 第 14 回 | 分割表とX ² 検定（演習） | | |
| 第 15 回 | まとめ | | |
| 評価方法 | 定期試験（50%）と演習課題（50%）にて評価する。 | | |
| 教科書 参考図書 | 〔教科書〕 リハビリテーション統計学 | | |
| 履修上の 留意点 | Microsoft Excelが使用できるよう準備をしておいてください。 | | |
| メッセージ | EBMを実践する上で統計学の知識は重要になります。どのような統計解析法を適応させ、結果をどのように解釈するかなどについて基礎知識を身につけられるよう取り組んでください。 | | |